



音楽体操で心もからだもイキイキ

7月21日(金)、音楽体操グループの皆さんが「笑顔の七夕まつり」を開催し、東町長に体操を披露しました。

音に薬と書いて「おんやく」と読むこの体操は、音楽にストレッチを組み合わせており、筋力とバランス能力を向上させ、「転ばない」「寝たきりにならない、させない」ことを目的に考えられた体操です。体操の組み合わせは、着物着付け教室やヨガ教室で指導をしている溝口千恵子さんが考案し、毎週金曜日に活動をおこなっています。

まつりは、町長の講話やこれまで練習した体操の披露、脳トレで笑顔が溢れていました。参加者は「体操が一番の楽しみです。ここに来ると元気になります」と話されました。



熱戦！大崎町七夕祭剣道大会

8月5日(土)、町総合体育館において、大崎町七夕祭剣道大会実行委員会主催の「第44回大崎町七夕祭剣道大会」が開催されました。

この大会は、新型コロナウイルス感染症の影響で4年ぶりに開催され、県内全域や宮崎県から約90チームの参加があり、3部門(小学校低学年・小学校高学年・中学生の部)で熱戦が繰り広げられました。

暑い体育館の中で、選手たちは防具を着け目の前の相手に集中して戦い、各部門で試合が進むにつれて熱気溢れる雰囲気がとても印象的でした。



プロバレーボールチームと バレー・農業で交流

兵庫県のバレーボールチーム「兵庫デルフィーノ」が、8月12日(土)、東町長を表敬訪問しました。同チームは、ファン増加と選手の魅力向上につなげるため農業支援などに力を入れています。今回、有限会社片平農産とのご縁で本町を訪れ、農産物販売やバレー教室を実施しました。午後から町総合体育館においておこなわれたバレー教室には、町内の小中学生48名が参加し、交流を深めました。また、選手は同日の夕方に開催された「大崎七夕さあ」において片平農産のカットスイカやメロン販売に協力しました。チームCEOの栗崎純一さんは「選手を身近に感じてもらい、大崎や鹿児島島の皆さんに愛されるチームになりたい」と話されました。



もの作り体験教室 今年も多くの子どもたちが参加しました

8月14日(月)から16日(水)・18日(金)の4日間、「もの作り体験教室」が特定非営利活動法人NPOわんぱーくの主催で開催されました。

これは、夏休み期間中、さまざまな体験活動をとおして、児童の健全育成を図ることを目的におこなっているものです。

今年は約50名が参加し、竹を使った水鉄砲や鳥の巣箱、水ロケットなどを作りました。協力しながら製作する姿や作った物で友達と楽しく遊ぶ姿が見られました。

